

大原野中学校の教育

【校訓】 「愛。自然を，人を，自分を大切にしよう」

【学校教育目標】

『すべての教育活動を通して伝え合う力(コミュニケーション能力)と課題解決能力を向上し，たくましく未来を拓き，地域社会に貢献できる生徒を育成する』

【目指す生徒像】

- ①他者の意見を傾聴し，自分の意見をわかりやすく伝えることができる生徒
- ②最後まであきらめず，他者と協働して課題解決に取り組む生徒
- ③課題解決で得た成功体験をもとに，自ら進んで次の課題に取り組む生徒
- ④地域の良さに目を向け，学校で培った力を地域で発揮できる生徒

【学校経営の基本方針】

- ①すべての教育活動を通じて，「伝え合う力（コミュニケーション能力）」と「課題解決能力」の育成を目指す。
- ②望ましい人間関係づくりを通して，一人一人を大切にする人権を基盤とした学校づくりに努める。
- ③「障がいのある生徒」，「LD等支援を要する生徒」，「児童養護施設措置生徒」など，生徒個々の背景にあるものを理解し，個に応じた取組を実践する。
- ④「不登校問題」「いじめ問題」等の解決を図り，すべての生徒が生き生きと活動できる学校づくりに努める。
- ⑤「働き方改革」を進め，風通しの良い協力し合える教職員集団となり，保護者・地域とも連携して信頼される学校づくりに努める。
- ⑥大原野学園として，上里小学校・大原野小学校とともに小中一貫教育の充実を目指す。
- ⑦学校評価アンケートを活用し，保護者や地域の意見を取り入れて教育活動の充実を図る。

【本年度の重点課題】

『学習指導』—すべての生徒に，実社会で生きて働く学力を身に付ける—

- ①学習指導要領の趣旨を踏まえ，習得した知識・技能を活用して，自ら思考・判断し，表現できる生徒の育成に努める。
- ②協働的な学びを取り入れ，主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。
- ③パフォーマンス課題やポートフォリオなどを取り入れ，指導と評価の一体化を図り，授業改善に生

かす。それとともに、生徒自身が自らの学習状況を把握し、学習活動の改善に取り組み意欲を向上させる授業を目指す。

- ④GIGA スクール構想により配備された１人１台のコンピュータ端末を活用し、生徒全員が主体的に参加できる授業づくりを目指す。
- ⑤キャリア教育の視点から進路指導や職業体験等をとらえ、生徒の社会的・職業的自立を目指すとともに、全ての生徒の進路保障に努める。
- ⑥特別な支援を要する生徒に配慮し、個に応じた指導を進める。
- ⑦教科横断的な視点を持ち、カリキュラムマネジメントを進め、授業改善の PDCA サイクルを確立する。

『道徳教育』—生活に根ざした道徳授業の展開を行う—

- ①「大原野メソッド」を取り入れ、考え議論する道徳を推進する。
- ②小中で道徳授業を公開参観し、互いの取組について研修する。
- ③ワークシートを活用し、学習の様子や発言・記述・パフォーマンスなどから評価の実践を行い、道徳の評価の指標を充実させる。

『生徒指導』—すべての生徒の自己指導能力を高め規範意識の向上を図る—

- ①生徒一人一人の実態を把握するだけでなく、その背景を探り、保護者とも連携を密にして温かみのある生徒指導を進める。
- ②「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を心がけ、問題発生時には的確な情報把握と組織的な対処を迅速に行う。
- ③教育活動全体を通して、思いやりの心や命を大切にする教育の充実を図るとともに、基本的な生活習慣を身につけさせ、規範意識の醸成を図る。
- ④地域行事への参加を奨励し、社会性を育て、地域の人々との望ましい人間関係の育成を図る。
- ⑤あらゆる教育活動を通じて、生徒が自己決定できる場面を意識的に設定する。
- ⑥生徒会活動の中で、生徒が自主的に取り組む場面を設定し、自立性・主体性の育成を目指す。
- ⑦スクールカウンセラーと連携した組織的な教育相談活動を推進する。

『健康・安全教育』

- ①自他の生命を尊重する意識を高めるとともに、安全についての実践的な能力や態度を育てる。
- ②望ましい生活習慣の確立を目指し、食に関する指導の充実を図る。
- ③自ら進んで体力の向上と健康の増進を図る態度を育てる。
- ④部活動等を通して心身を鍛えるとともに、最後までやりぬく粘り強い生徒を育てる。
- ⑤登下校の安全確保はもとより、防犯に関する指導の充実を図るとともに、地震・火災などの防災に対する意識の向上を図る。

『人権教育』

- ①すべての教育活動を通して人権教育を推進する。
- ②様々な交流や体験の機会を設け、人権学習を進める。
- ③障害者に対する差別の問題や外国人問題、同和問題、LGBT等性的少数者に対する差別の問題など、多様な人権問題に取り組み、人権意識の高揚を図る。

『小中一貫教育・小中連携教育』

- ①上里小学校・大原野小学校と連携し、小中一貫教育の研究を進め、実践化を図る。
- ②「大原野の子は、大原野で育てる」の精神をもって、教育活動に取り組む。

『開かれ、信頼される学校づくり』

- ①学校評価の結果を生かし、教育活動の工夫・改善を図り、信頼される学校づくりに努める。
- ②学校運営協議会や地域指導連絡協議会を活用し、地域や関係諸機関との協力体制を確立する。
- ③学校HPなどを活用して情報発信を行い、学校の取組に対して家庭・地域に理解と協力を求める。